

海外派遣留学プログラム報告書

(報告期間：2019/08/27 ～2019/09/30)

1. はじめに

～Who am I?～

1. 1 自己紹介

はじめまして。プトラマレーシア大学 (University Putra Malaysia, 以下 UPM) というところに 2019 年の 8 月から滞在している Mas です。千葉大学には 2018 年に入学しており、現在国際教養学部 2 年生です。今回の報告書では留学前の準備や留学直後の手続き、生活の状況や授業の内容について書きます。

1. 2 この報告書に関して

ほかの派遣留学の報告書をご覧になられた方はお気づきかと思いますが、私は少し形式を変えて長めに書く予定です。一応留学生課の方から、形式変えてもいいし文章が長くなっても構わないとのことでしたのでそうすることにしました。このような形式をとるに至った主な理由をあらかじめ説明しておきます。

(1) 報告書を書く回数の減少

去年までは毎月提出となっていたこの報告書ですが、今年から報告書の提出が最初

の月、中間の月、最終の月の3回のみとなりました。情報量が去年よりも減少してしまうように感じられます。そのため、情報量を補うために長めに書きます。

(2) 留学を考えている方への情報提供

私自身、前に留学に行かれていた多くの先輩方の留学報告書を読み、留学の計画を立てるための参考にしていました。この報告書を読んでいる方の中には、これから留学を考えている方もいると思います。そのような方たちに向けて準備に関して少しだけ書くことにしました。留学準備と到着直後の手続きの部分は留学中の勉強、生活などにはあまり関係なく余計なことやギャグばかり書いているため、それらに興味のない方は43ページ「7. 勉学の状況」まで読み飛ばしてください。留学を考えている方々にとって参考になる情報を多く提供していきたいと思います。

(3) 学部などの友人に向けて

この理由が一番大きいです。同じ学部にも、留学に行く前に「報告書を読むね」という友人や、UPMへの留学を考えている友人がいます。主にその特定の友人たちに向けてこの報告書を書いています。

以上の3つの理由から、形式を変えて長めに書きます。どれほどの人数がこの報告書を読んでいるのかはわかりませんが、不要なところ、特に準備と手続きに関して書いた2～6は読み飛ばしてもらって結構です。留学中は学習面でも生活面でもやるべきことが多く、時間が限られていますが、なるべく「読んで参考になった」といってもらえる

ようなものを書けるように努力します。

2. 　　なんで UPM へ？

～BERILMU BERBAKTI～



UPM North Campus Main Hall 前の広場

2. 1 UPM とは？

まずは留学先の大学の基本情報から。私が留学している大学は英語で University Putra Malaysia、マレーシア語だと Universiti Putra Malaysia という大学で、UPM と略されています。マレーシアで UPM といえばかなり通じます。道路上の標識にも UPM という表記があるし、住所も UPM と表記されています。この報告書でも UPM という

略称を用います。場所は Kuala Lumpur International Airport（クアラルンプール国際空港、以下 KLIA）から車で北に 1 時間弱の場所にあります。千葉大学からは直線で 5400 km くらいの距離にあります。

UPM は農業分野での評価が世界的に見ても高いようです。2020 年度の QS World University Ranking による評価で、世界大学ランキングでは UPM は 159 位に入っています。Sustainability of green campus and environmental management によって評価される UI-Greenmetric ranking では 2018 年度に世界で 32 位にランクインしたそうです。

その他基本情報はホームページをご覧ください。

<https://www.upm.edu.my/>

2. 2 UPM へ来た理由

私が留学先に UPM を選んだ主な理由は以下の通りです。

(1) MoU

“Memorandum of Understanding”の略です。「メモを取る」といったときの「メモ」という略で知られる“Memorandum”に「理解」を意味する“Understanding”。この間に“of”を入れると、基本合意書、つまり協定を結んでいることを意味します。派遣留学先の大学は基本的に協定校の中から選びます。UPM もその一つでした。

(2) マレーシア

私がマレーシアに来るのは2回目で、高校2年の夏休みに一度訪れました。そのときにこの国に興味を持ったため、大学に入ったらマレーシア、または東南アジア圏でもう一度研究を行いたいと以前から考えていたため、マレーシアの大学を選びました。東南アジアの国々に興味があるのですが、その中でも英語が通じやすく、比較的平和で物価の安い国であるという理由もあります。

(3) エコツーリズムの研究

高校生のときも観光に関する研究を行っていました。環境系にも興味があり、自然環境を活用した観光であるエコツーリズムを植物の多い熱帯の国で研究しようと思いました。東南アジア圏の大学を調べた結果、UPMのFaculty of Forestry（日本語に訳すならば森林学部、または林業学部）にDepartment of Recreation and Ecotourismという、名前からして私の興味のある分野と合致していることを勉強できそうな学科があったため、ここに決めました。

以上、大きく3つに分けて説明しました。要約すると、マレーシアという国に興味があって、かつ学びたいことの専門の学部もあったという感じです。

3. 留学準備をしよう！

～Hope for the best, but prepare for the worst.～

3. 1 出発 10 ヶ月前から始まる

参考になると思うので大まかな日付も記載します。2018 年の 10 月から留学を考え始めました。準備期間と留学期間がほぼ同じということです。千葉大学での選考に応募するために書類を用意しなければならないのですが、その提出が 11 月ごろだったので、「2 年生の夏から留学行ったほうがいいのか～」と悩み始めるのが 1 年生の 10 月、大学の後期が始まってすぐです。私はそのときはまだそこまで行く気がなかったのですが、「まあ選考通って途中で行きたくないってなったらやめればいいや」という軽い気持ちで応募しました。最初は不合格だったのですが、1 月に追加募集があったので、それに応募して選考通りました。そのため「派遣留学応募しようかな」という決断は、夏に出発する場合、その前年度の 1 月までに決断しなければなりません。もし迷っているなら、あとからだったら断ってもいいからとりあえず応募してみるというのもありだと思います。

書類とかの手続き関係について詳しいことは留学支援室とかに聞いてください。大切なことは、「留学行きたいです」とか「留学行こうか迷っています」ということを言いまくることです。適切な人に向かって言えば適切なアドバイスもらえたり、何をすべきなのかを教えてくれたりします。そしてそれに従っていれば申し込むための手続きは終わります。

3. 2 ワクチンは時間がかかるし種類も多い

UPM に到着した後に気づいたことですが、健康診断の提出書類に「このワクチンを受けたのはいつですか」みたいな項目があります。私はほとんど受けていなかったの、ほぼ空欄で出しました。でもなにも言われませんでした。ちなみにそこに掲載されているワクチンは以下の通りです。

1. Yellow Fever 黄熱病
2. BCG 結核
3. Typhoid 腸チフス
4. Meningitis (Quadrivalent) 髄膜炎
5. Hepatitis B B型肝炎
6. Others その他

健康診断に関しては健康診断の項目で書きます。私はこの中で接種したことがあるのは BCG だけです。また、A 型肝炎 (Hepatitis A) のワクチンは留学前に最初の 1 度だけ受けたのですが、本当は 3 回受けなければいけないようで、6 ヶ月かかるそうです。あと健康診断の書類の最初のページに次のようなことが書かれていました。

“PROSPECTIVE CANDIDATES ARE STRONGLY ADVISED TO UNDERGO VACCINATION FOR HEPATITIS B BEFORE JOINING UNIVERSITI PUTRA MALAYSIA.”

要約すると、「B 型肝炎のワクチンは接種しろ」とのことです。私はもちろん接種していません。接種してなくても UPM には入れてくれます。感染していると入学許可が下

りません。

危機管理の準備のひとつなので、留学に行く前に、それも半年以上前にワクチンの接種を開始しないと間に合わないようです。派遣留学の選考通ったら、すぐにワクチンの接種を始めないと間に合わないということがわかりました。これから留学に行く方で接種を考えている場合は早めに接種を開始しましょう。

3. 3 UPM へ書類提出

このセクションを書く上で最初に言っておきますが、私は UPM に何も郵送していないということは最初に明らかにさせておきます。書類の提出はすべて pdf 化したものをメールで送りました。

3月28日に海外留学支援室のほうから、「プトラマレーシア大学から申請の許可が降りましたので、申請を始めてください。」というメールが届き、UPM に送るための書類のひとつ Application のフォーマットが届きました。この書類をすべて完成させて海外留学支援室に送信したのが4月24日。UPM への提出締め切りは4月30日だったので、ゴールデンウィーク前に提出する必要がありました。UPM へ送る書類は以下の通りです。

- ・ Application and Transfer Credit

名前とか住所とかメールアドレスとか電話番号とかの個人情報、在学中の日本の大学

の情報などを書きます。あと UPM のホームページで授業確認して取りたい授業を書きます。しかし、ここに授業の名前を書く意味は何もないです。書かなくてもよかったと留学中の今ではわかるのですが、書くための欄があります。この書類には日本の海外留学支援室の方のサインと、日本で所属している学部の学部長のサイン、そして留学志願者自身のサインが必要です。

- Acknowledgement of nomination

海外留学支援室の方が作成します。提出された後見ました。

- Recommendation Letter

指導教員の先生が作成します。海外留学支援室のほうからフォーマットもらえるのでそれを指導教員の方に添付し、指導教員の方が完成させて海外留学支援室に送ります。私は完成されたものを見たことないです。

- Certified copy of academic transcripts

英語の成績通知表です。所属の学部に依頼して作ってもらいました。日本で所属している学部の学部長のサインが必要です。

- English language certificate

TOEFL の結果のコピーです。IELTS とかでも可です。もちろん一定のスコアをマークしている必要があります。

- 2 passport sized photos

写真屋さんで撮りました。背景は白に指定されていたような気がします。一応2種類提出しました。何に使われているのかは不知道です。

以上を海外留学支援室の方が UPM へ送ります。すると、5月7日に UPM の International Centre の方から私にメールが届きました。そして Offer Letter (以下 OL と省略) となんか留学書類セットみたいなもの (Mobility Pack Semester Exchange) が添付されており、この留学書類セット開いてみるとさらに3つのファイルが入っていました。1つ目が Welcome to UPM という UPM に関する情報や、UPM 学内の Accommodation に関する書類、Academic Calendar、Map of UPM が添付されていました。2つ目が UPM Registration というファイルで、Medical checkup Form (健康診断の書類)、学内で Wi-Fi を Activate する方法を説明してある書類、学部の時間割の枠だけ書いてあるただの格子状の書類の3つ pdf と、Change of Faculty Form (If needed) が添付されていました。pdf は大学着いた後に書類でもらえます。Medical checkup Form は記入する内容が少し多く、かつパスポートサイズの写真を張り付ける必要もあるので、日本で先に印刷して必要事項の記入を済ませておいてもよかったかなと思います。

以上の2つのファイルは一度も開かなくても何とかあります。重要なのは3つ目の VISA AND PASS APPLICATION というファイルです。このファイルに添付されている

のは3つ。1つ目が User Guide How to Apply Visa Through EMGS という EMGS についての説明の pdf。2つ目が health_declaration form という pdf。なぜかスペルミスがありますが、この書類は不要です。そして一番重要な Confirmation Letter Template for Home University という word ファイル。メールの添付資料の中で本当に必要なものはこの書類と OL だけです。この word ファイルは自分が日本の大学の学生であることの証明書であるため、学部において大学の Letterhead をつけてもらうことと、学部長もしくは海外留学支援室の方のサインをもらうことが必要です。私は学部長にお願いしました。これで EMGS に必要な書類はそろいました。

3. 4 EMGS

EMGS というのは、Education Malaysia Global Service の略です。URL を貼っておきます。

<https://visa.educationmalaysia.gov.my/>

このウェブサイトで手続きを行います。まずアカウントを作成します。このときに、基本的な個人情報、留学先のマレーシアの大学の名前と学部、留学期間、パスポートの情報などを入力します。

途中で Insurance という項目があり、先ほどの User Guide にはこの項目について以下のように書かれています。

“All International Students must be covered by Malaysian Health Insurance

throughout the duration of their study.”

要約すると「国民保険にはいってね」だそうです。これに入る必要はないです。選択項目に保健のプランがいくつか提示されますが、“Own Group Insurance”という項目を選ぶと保険に入らずに登録できます。

また、ここではこれらの情報入力以外にいくつか必要な書類があります。

- ・ Offer Letter

UPM から pdf ファイルで届いているのでこれを添付します。

- ・ パスポートの顔写真のページ

プリンターで pdf 化しましょう。2000KB 以内です。

- ・ Pre-arrival Medical Report

千葉大学で健康診断を受けておけば、英語での健康診断の結果は pdf でダウンロードできます。X-ray も義務付けられているようですので受けましょう。

- ・ Confirmation Letter

志願者が千葉大学の学生であることの証明です。私は最初「それなら学生証でいいのでは？」という考えで学生証のコピーを添付したところ、後ほど「ちゃんとした Confirmation Letter を送れ」という趣旨のメールが来ました。さきほど述べた Confirmation Letter Template for Home University をもとに作成して提出しましょう。

・パスポートサイズの顔写真

実はこれが最大の難所でした。EMGS に提出する顔写真、制限が厳しいです。写真屋さんに行って、「背景白、横 217px 以下、縦 280px 以下、ファイルのサイズは 66KB 以下の jpg のパスポートサイズの顔写真、撮れますか？」とお願いしました。写真屋さんの方も最初「できるかわからない、2, 3 日かかるかも」といっていましたが、2 時間で作ってくれました。

こうしてすべての必要な情報を入力し終わると、支払画面になり、支払方法を選びます。Credit Card か Pay through institution の 2 択です。僕は最初、クレジットカード情報を盗まれる可能性があるのではないかと思い、Pay through institution を選びました。するとしばらくして UPM からメールで、“Kindly send to me your proof of payment so that I can approve your application.”と送られてきました。海外の口座に送金する手続きが面倒だったので、EMGS に「どうやったら支払方法変えられますか？」とメールしたら、“Kindly liaise with the institution reject the application in our system.”と返信が来ました。そのため UPM にその登録を一度キャンセルするように依頼し、また新しい登録を行って、支払いをクレジットカードに変えました。私はここまで進んだときに、何も考えずに支払画面に移行してしまったため、クレジットカード情報を入力するのに 5 分というタイムリミットがあることに気づかず、もう一度初めから

やり直しになりました。EMGS ヘデータ入力を始めるときはクレジットカードを用意してから始めましょう。VISA と MasterCard のみ可です。ここで RM550 払いました。RM1=27 円とすると約 15000 円です。(マレーシアの通貨単位はリンギットで、1 リンギットを RM 1 と表記します。)

支払いが終わった後も、先ほど述べたような書類不備がいくつかありました。ここで私がミスした内容をまとめておきます。

- ・データサイズがあまりにも大きすぎる写真を用意してしまう。写真は写真屋さんでデータサイズを指定して撮ってもらうべきだった。

- ・マレーシアの国民保険に入らなくてもいいのに、どのプランの国民保険に入ればいいのか調べていた。Insurance の項目は Own Group Insurance を選択し、日本で保険に加入すればよい。この理由は後述。

- ・支払方法で Pay through institution を選択してしまった。国際送金は手続きが面倒なため、Credit Card のほうが無難。

- ・Credit Card で払うときに 5 分という制限時間に間に合わなかった。EMGS の登録画面で Credit Card を選ぶときにはクレジットカードを用意すべし。

- ・JCB カードを用意してしまった。番号を打ち込んで“invalid”と表示されて初めて JCB が使えないことに気づいた。使えるのは VISA と MasterCard だけ。

- ・登録時に Course Duration の選択肢が、なぜが最長で 6 month しか表示されず、これ

でいいのかなと思い 6month にしたら、UPM から留学期間の確認メールが来た。10 ヶ月いると答え、EMGS に「6 ヶ月じゃなくて 10 ヶ月に変えてくれない？」とメールすると、「それは UPM 経由でお願いして」ときた。そのため UPM にメールでそうお願いしなければならなかった。

- ・ Confirmation Letter が学生証でも良いものだと思って、学生証を提出してしまった。

最初から UPM から送られてきたテンプレートを利用すべきだった。

- ・ Confirmation Letter を提出するときに、最初 Letterhead of Home University というのが何かわからず、Letterhead なしで提出してしまったその後「Letterhead つけて」というメールが来て、学部をお願いしてつけてもらった。最初から学部を確認すべきだった。

- ・ 書類を追加で EMGS に提出するとき、EMGS に問い合わせを行うときのメールアドレス (enquiry@emgs.com.my) に提出してしまう。追加の書類を提出するのはここではなく、提出専用のメールアドレス (additionaldoc@emgs.com.my) に提出しなければならなかった。

以上です。これからマレーシアへ留学に行く方は、EMGS の登録でこのような失敗をしないようにお気を付けください。

EMGS の手続きは 5 月 30 日から始めていたのですが、時間がかかってしまい、結果的にすべての書類が提出できたのが 6 月 21 日でした。準備がスムーズにいけば書類の

...では、ここは？



「ひざ」と答えた方、残念ながらここは膝ではありません。

「ひじ」と答えた方、ここは肘でもありません。

「ピサ」と答えた方、残念ながらここはイタリアの都市でもないです。

「渋谷」と答えた方、正解です。ここは渋谷駅から徒歩 20 分のところにある在日マレーシア大使館です。ビザの申請のためにここには 2 度訪れました。eVAL が準備できたら、ここに来ることができます。ビザの申請に必要な書類は以下の通りです。

・ eVAL

EMGS のウェブサイト で用意されたものを印刷しました。3 枚中 2 枚しか必要じゃないのですが、どの 2 枚がよくわからないので 3 枚持っていきましょう。

- ・ パスポート 原本

提出します。

- ・ パスポート 顔写真 ページのコピー

印刷しました。

- ・ パスポート サイズの顔写真 2 枚

大使館でもらう書類に貼り付けます。

- ・ 航空券

e チケットのコピーです。

これらをそろえて渋谷に来たのが 7 月 17 日、水曜日です。私は水曜日が全休だったためこの日に来ました。大使館は月曜日から金曜日のみ開館しています。土日とマレーシアの祝日はお休みです。ホームページで大使館が空いているかを確認しましょう。

https://www.kln.gov.my/web/jpn_tokyo/home

最初に申請に行くときは 9 : 00 ~ 12 : 00 の間、午前中に大使館に行きます。着いたらまず入り口のゲートで名前などの個人情報を書きます。このときにパスポートの提示が必要です。建物の中に入ったら、受付の人に「ビザの申請に来ました」といって、VISA

APPLICATION FORM の書類をもらいましょう。写真を張り付けるための糊も借りることが出来ます。次に、番号札をとります。私は番号札があることに1時間ほど気づかなくて無駄な時間を過ごしてしまい、10時半頃到着したのですが、12時半まで待ちました。番号札をとって待っている間に VISA APPLICATION FORM の記入をしましょう。この書類には、留学先の大学の住所とか書かなければならないので、いろいろ調べられるようにスマートフォン持っていきましょう。番号が呼ばれて窓口に行って、パスポートと書類を提出すると引換券がもらえます。呼ばれてから引換券もらえるまで3分で終わります。引換券がもらえたらその日は帰って OK です。

3. 7 「不法薬物の持込みは死刑に処されます。」

2 回目にマレーシア大使館を訪れるのは翌日以降の午後 15:00~16:00 の間です。私は一週間後の 7 月 24 日に訪れました。入り口のゲートで引換券を提示するとパスポートの代わりとして通してくれます。建物に入り、窓口で引換券を渡すと 30 秒後にはパスポートが帰ってきます。マレーシアのビザはパスポートにスタンプが押されたものなので、それ以外は何ももらいません。パスポートもらったら終わりです。パスポートのスタンプ押すページに「不法薬物の持込みは死刑に処されます。」と頭に書いてあるページが追加されていれば、それがビザです。出発の日に乗った機内のアナウンスでもご丁寧に「不法薬物の持込みは極刑に処されることがございます」とご案内していただきました。私のビザはスタンプの押され方が雑で、ほかに何が書いてあるのかほとんど

読めません。

3. 8 Take out a policy

保険の加入は8月17日に成田空港の1タミで行いました。東京海上日動の保険です。

かなりお金がかかることなのでこれについても少し説明します。

まず保険に関しては、この東京海上日動の保険以外には入っていません。OSSMAには加入していますが、先ほど言及したマレーシアの国民保険には加入していません。東京海上日動の保険ですべてカバーされるので、国民保険に加入する必要はないです。国民保険はおそらくマレーシア国内での損失しかカバーされませんが、海外旅行保険ならば海外どこでも(紛争地域などを除く)基本的に対応してくれるため、例えば隣国シンガポールに旅行中に生じた損害にも対応しています。

1年間の留学にかかる保険料は約20万円~30万円とかなり高額です。必要性がわからない、という人もいるかもしれませんが、何かあってからでは困るので、やはり加入しておくべきでしょう。でも、ケガや病気をたくさんして元を取ろうなんて思わないように。保険はあくまで保険、お守りのようなものです。

さて、私は事前に成田空港の保険カウンターで保険に加入したわけですが、そこでの経験から注意点をいくつかあげておきます。

(1) 未成年は保護者(親権者)と一緒に

未成年は契約者になれません。

でも、保険に加入することを当日まで忘れていて、出発当日でどうしよう?!という状況になってしまった場合の対処法は後で記します。

(2) 余計なことを言わない

カウンターのお姉さん(見た感じかなりの新人)に「何か特別なスポーツや活動をしますか?」と聞かれ、「ボルダリング」と返事をしたところ、ただでさえ滅多に取り扱わない長期プランの対応を緊張した面持ちでやっていたのに、その表情がさらに硬くなり、何やら分厚いファイルを取り出して調べ始めました。慌てて「屋内のジムとかでやるだけで、外の崖とかアドベンチャー的なことはしません。というか、ボルダリングなんて海外に行ってまでやりません!!」と言ってお姉さんにファイルを戻させ、手続きを進めてもらいました。

普段の会話で「ボルダリングする」と言ったら、あ〜ジムとかで壁登るのね、くらいにしか思われませんが、ここでは「海外に行って」という前提が付いています。そのため、うっかり「ボルダリング」なんて言ってしまうと「わざわざ海外でボルダリングするということは危険な断崖絶壁とかで命がけのアドベンチャー的なことをしに行くのではないか、だとしたら加入 NG の危険なスポーツに該当するかもしれないから保険の引き受けはできない。手元の資料で確認し、場合によっては保険会社に電話で問い合わせなければ」と思われてしまうようです。そうなると時間はかかるし、いろいろと

面倒です。そのため、本当に危ないこと（をやりに行く人は滅多にいないと思うけど）をするのでなければ、このような質問には「NO」と答えるのが正解です。

(3) いろいろなプランがあることを事前に調べておく

保険カウンターで「留学用の長期のプランありますか？」と聞いてまず提示されたのは保険料が20万円以上かかる高額なものばかりでした。すかさず「障害死亡5000万円もいらぬので1000万円くらいのプランないですか？」と尋ねました。すると、別の表が出てきました。要するに、死んだときにもらうお金はそんなに要らないから、病気やケガの補償をしっかりつけてね、という内容の保険を選ぼうとしたのです。

空港の出発階にある保険カウンターは数が限られています。これから出発する旅行者にはあまり選択の余地がありません。飛行機の時間も決まっているので、あれこれ悩む時間もありません。ゆえに初めに提示されたプランを「じゃあ、これで」と申し込む旅行者は多いようです。保険会社はそこにつけこみ、初めに高いプランだけを提示しているようです。そのほうが儲かるからです。でも、これは決してぼったくりではありません。保障内容が高額であるゆえの保険料なのです。私たちはそのことをわかっていたため、ほかのプランの提示をお願いしました。結果、11か月で18万円以下の比較的リーズナブルなプランに加入しました。

さて、では先ほどの未成年のケースについて補足します。

保険に加入するのが出発当日でなければ、その日は諦め、申込書をもって帰りましょう。後日、親権者と一緒に出直しです。

でも、もし出発当日で保護者がいないけどどうしても加入したいという人は以下の方法を試してみるのもいいでしょう。

- ・事前に参加申込書入手し、契約者氏名欄に保護者の自筆で保護者氏名を記入してもらっておく。（保護者の自署か確認されたら、「はい」と言おう。親の生年月日もきちんと把握しておくこと）

- ・見送りなどで空港に来てくれた友達（20歳以上）に契約者になってもらう。

- ・死亡保険契約については本人同意が必要なのは16歳以上であるため、本人が保険に申し込むのであれば、本人が同意する条件はクリアしているので、未成年だけどもあいまいか、と対応してくれるケースもあるらしい。但しこれは卒業旅行や学生旅行で当日に空港で加入する学生への救済処置的なものと思われる。

- ・保険カウンターのスタッフが年齢確認を見落とし加入できちゃうケース。

以上の方法はあくまで一例であり、必ずしも通用するわけではありません。

未成年の方が空港で保険に入る場合は、保護者同伴のほうが良いです。基本的に成人の契約者が必要ですし、保険料が高額だからです。1年間の保険料は17万円から30万

円ほどかかります。現金の用意があれば良いですが、クレジットカードで払おうとすると、学生カードには 10 万円ないし 20 万円が上限になっていることがあるため、払いきれない場合があります。

以上が空港の保険カウンターで申し込む場合です。

結論・・・保険は事前に参加しよう！

保険は大学の生協や旅行会社、インターネットなどで事前に申し込みができます。

インターネットならば、複数の保険会社のプランを比較し、じっくりと検討することができます。WEB からの申し込みや郵送での申し込みが可能です。保護者がいない、という心配もないでしょう。

ちなみにクレジットカード付帯の海外旅行保険は原則 1 か月～3 か月以内の旅行を対象としているものが多いので、長期留学の場合は注意が必要です。

保険の加入証のコピーは大学到着後に提出が必要です。必ず日本語だけでなく英語でも内容が書かれていることを確認してください。

3. 9 その他の準備

長くなりましたが、以上が留学前の主な準備です。このほかにも手続きがあるので簡

単に紹介しておきます。

- ・スーツケースなど必要なものを買う

スーツケースは2つ持っていきました。到着してから気付いたのですが、ほとんどのものはマレーシアで売っています。そのため、マレーシアでは手に入りづらい日本語で書かれた本、主に英語やマレーシア語を勉強するための本をもっと持ってきてもよかったですかなと思っています。日本製品もマレーシアで買うとやや高いため持ってきてもよいかもしれません。また、入国手続きに必要なものは忘れずに準備しましょう。

- ・バイトをやめる手続きをする

出発1ヶ月前に退職しました。退職のさらに1か月前ほどから退職手続きを進めていきました。楽しいバイトだったのでやめたくなかったのですが、約1年も日本にいないのでやめざるを得ませんでした。

- ・スマートフォンのsimロック解除

携帯電話のお店に行って解除しました。行かなくても解除できるらしいです。

- ・OSSMAへの加入

留学生課からもらったプリントに手続きが書いてあったので登録しました。

- ・ほかの派遣留学に行く友人の見送り

時間的余裕があれば見送りに行きましょう。私はチェコに行く友人を成田空港に見送りに行きました。

- ・ 指導教員との相談

留学中のことに関して相談しました。

- ・ 留学中の滞在先の確保

出発3ヶ月ほど前から滞在先を調べ、メールなどでやり取りするべきです。私の場合は滞在先の確保ができていない状態でマレーシアに行くことになってしまいました。

- ・ (一人暮らしの場合は) 住んでいる家をどうするか手続き

長期間滞在不い家の家賃を払い続けて確保するか、契約を終了して帰国後ほかの家に住むか。私は実家暮らしであるためやっていません。

- ・ 医療機関での診察

歯医者くらいは行っておいたほうがいいかもしれません。個人の体調によりけり。

- ・ 録画リストの整理

テレビ番組をたくさんとりためていたため、出発前日はずっとテレビを見ていました。

4. 留学生の入国手続き

～僕は十九歳で、そのときエアバス A350 のシートに座っていた。その巨大な飛行機はぶ厚い雨雲をくぐり抜けて降下し、クアラルンプール国際空港に着陸しようとして

いるところだった。～

4. 1 自分を観光客だと勘違いしないでね



KLIA の EMGS カウンター

出発は 8 月 27 日。成田空港から午前中の便で KLIA へ。成田空港で日本円からリングギットに 5000 円だけ両替しましたが、KLIA での両替のほうが良いレートです。成田空港で一番レートが良かったのは $RM1 = ¥28.99$ ですが、KLIA では $RM1 = ¥27.03$ で両替できました。

観光客と同じように入国審査を済ませてしまう留学生、意外と多いそうです。私のルームメイトも間違った入国手続きを踏んでいました。ここ間違える人多いので、これからマレーシア留学する人のために詳しく書きます。

飛行機が KLIA 到着したら、到着した場所によっては電車に乗ることがあります。この空港は非常に広いので、一部無料の電車で移動する必要があります。入国審査のゲートに行く前に EMGS のカウンターがあります。このカウンター、留学生の方は無視せずにここにいる人に話しかけましょう。ここではパスポートと航空券のほかに、Eval と

Offer Letter の提出を求められるので、日本で印刷して手荷物として持っておきましょう。ただ、このカウンターを無視しても入国手続きのカウンター間違えなければ大丈夫かもしれません。

ここのカウンターの人に、「入国手続きは一番右のカウンターで行ってね」といわれます。入国手続きのカウンターは 58 番くらいまでありますが、“New Student”と書かれていた 55 番ゲートへ進みました。右のカウンターに行くかどうかで自分が観光客だと勘違いしている留学生になるかどうかが決まります。入国審査ではパスポート、航空券のほかに、Eval の提示も求められます。留学生の入国手続きって長いのかなと思っていましたが、3分ほどで終わりました。

4. 2 間違えて入国した場合の対処法

ここまで読んでいる人はだれも間違えないと思いますが、もし自分を観光客だと勘違いして入国審査を済ませてしまった場合、KLIA の Management に行って、手続きを行わなければなりません。ここは現地時間の午後 5 時までしか空いていないので、到着した日またはその翌日に KLIA に戻ることとなります。Management がどこにあるかは KLIA の Information のところに行って聞きましょう。

5. UPM 到着直後の手続き

～留学前に寮を予約しなかった人の末路～

5. 1 ひとり暮らし VS ルームメイトと共有部屋

寮に関してですが、一般的に寮は事前に予約するものです。予約で埋まる前に、遅くとも3か月前から希望する滞在先とメールなどで連絡を取るべきだと思います。

私も留学3か月前からキャンパス内にある One Putra という、2019年の9月から新しくできる寮にひとり暮らしをしようと考え、ここと連絡を取り合っていました。しかし、9月前半から入居できるとのことだったので渡航直後から滞在することができない、また一人暮らしよりもルームメイトと共有の部屋のほうがいいのではないかと思います、ここには滞在しないでいいやと思いました。

ここでひとり暮らしとルームシェア、それぞれの利点を考えたいと思います。

ひとり暮らしの利点

- ・何をするにも自由。ルームメイトに迷惑をかける心配がない
- ・友達を自由に部屋に連れ込める
- ・ルームメイトとトラブルになるはずがない
- ・冷蔵庫の中身など全部自分のもの

ルームシェアの利点

- ・家賃がひとり暮らしよりも安い

- ・食器、日用品などもシェアして買うことができる
- ・体調不良などで倒れたとき、ルームメイトが助けてくれるかも
- ・ルームメイトという友人がすぐできる
- ・家事、掃除などをひとりでやらなくてよい

留学準備を始めたばかりのころはひとり暮らしをしてみたいという理由もあり、ひとりで一部屋分借りることができる One Putra というところと連絡していましたが、体調不良で倒れたときだれも助けてくれないこと、また家賃が高いことを考慮しルームシェアのほうが良いと考え、連絡をやめました。そしてルームシェアであるキャンパス内の寮にメールを送ってみたのですが、返信がなかったため、結局住む場所を予約できないまま出発となってしまいました。

今は結局ルームシェアの部屋に住んでいるのですが、ルームシェアでよかったかなと思っています。多くの場合留学生はルームシェアを行いことが多いですが、もしも留学前にどちらか選べるとしたら、それぞれの利点をよく考えて個人の好きなほうを選んでください。

5. 2 i-Putra 到着



Putra International Centre (i-Putra)

8月27日の夕方 KLIA に到着した後、近くの予約しておいたホテルへタクシーで向かい、一晩過ごしました。8月28日の朝 UPM へと出発しました。このとき、ホテルのスタッフの方に「UPM までどうやって行ったらいい？」と尋ねると、Grab というアプリで車を呼んでくれました。日常的な移動手段は基本的に Grab を用います。

ホテルのスタッフに Grab を呼ぶようお願いしたとき、単に「UPM」としか伝えなかったため、到着した場所は留学生が登録を行う Putra International Centre、通称 i-Putra という施設から 4 km も離れた別の施設についてしまいました。そのため到着したときドライバーに「ここじゃなくて i-Putra に行きたいのだけど」というと、さらに料金を払うことになりましたが無事に到着しました。そこで私は間違えて、i-Putra へ正面から入ってしまいました。そこでは Full-time Student の登録を行って

ました。これから普通に UPM へ入学し、4 年間過ごす留学生のための登録です。それに気づかず私は途中まで Full-time Student と同じ手続きを踏んでしまい、スーツケースを 2 つ持った状態でキャンパスの Full-time Student 用の寮の手続きを行う場所である Academic Complex A まで案内されました。車で 3 分ほどのところですが、そこでやっと私が間違った手続きを行っていることがわかり、また i-Putra へと戻りました。ここまでの移動もすべて Grab です。i-Putra に戻ると、この施設の裏を指し示す “New Mobility Student Registration” と書いてある矢印に気づき、それに従って裏にある Lecture Hall に行くと、Mobility Student の登録を行うところにたどり着きました。

ここから Mobility Student の登録手続きを開始します。まず留学生の間ではスタンプカードと呼ばれている黄色いプリントをもらいます。このスタンプカードと共に Mobility Student の登録手続きを行います。これについては後で解説します。ここにいた i-Putra の方は渡航前からメールで手続きの確認を行っていた方でした。「お腹へってない？近くにカフェあるよ」とか声をかけてくれたり、質問にもわかりやすく答えていたりと対応が非常に親切でした。

5. 3 携帯電話の契約

スタンプラリーを始めるときに i-Putra の方から言われたのが、手続きにはマレーシアの携帯の電話番号とマレーシアでの滞在先の情報が必要とのことでした。携帯は

sim フリーにしてあったので、i-Putra から歩いて5分のところにある sim カードを
買うことのできる場所を教えてください、そこで digi という会社の sim カードを購
入しました。プランの内容は、月 RM28 (約 750 円) で4 GB と Unlimited Call、さら
に毎日 13 時から 19 時の間に 1 GB 使うことのできるというものです。このほかに
月 5 GB、7 GB、9 GB など様々なプランがありました。また会社についても digi 以外
にも maxis、hotlink など数種類あります。



Sim カードを買ったお店。写真も扱っている。

5. 4 間違っただの取り方

最初に言うておきますが、泊まる場所は事前に予約しましょう。これが確実に正し
い寮の取り方です。前述のとおり、私は泊まる場所を決めずにマレーシアに来てしま
ったため、i-Putra の方に「泊まる場所がまだ決まっています。」とお伝えしまし
た。すると「UPM Guest House に電話してみるね」とのこと。電話したら OK との

ことでその日の夜からそこに滞在することが決まりました。この UPM Guest House ですが、渡航前の 8 月 15 日に i-Putra から“For your information, our UPM Guest House has now fully booked.”というメールが来ていたため、空きがないものだと思っていました。なぜ空きがあったのかはよくわかりません。滞在している現在では男子寮にも女子寮にも明らかに空きがあることがわかるため、キャンセルでもあったのか、それとも何かの間違いですべて予約されたことになってしまったのか、詳細は不明です。この滞在先については生活の状況のひとつとして後ほど詳しく説明します。

UPM Guest House に空きがあることを i-Putra の方に確認していただいた後、早速 UPM Guest House へ向かいました。携帯が使えるようになったので初めて自分で Grab のアプリでタクシーを呼んで、3 分ほどで着きました。この UPM Guest House でちょっとしたトラブルが起きました。最初に女子寮にあるオフィスに向かい、滞在期間の確認をしたのち振込についてのメモと 2 つの鍵をもらいました。このときもらった鍵は Unit C の鍵とその中の Room2 の鍵です。Unit はいわゆるフラットのことで、男子寮には A から E まであります。隣にある男子寮のほうに歩いていき Unit C に入ると、他人のスーツケースが置いてあり、私物がたくさんあって、さらに部屋の中には大量の空のペットボトルが置いてありました。さらにトイレがすごく汚かったです。Unit の中を確認すると、Room2 と Room3 にほかに先客がいて外出中なのかな

と思いましたが、明らかにずっと前から住んでいるような形跡だったので、おかしいなとは思いつつも今夜寝る場所を確保できたことに安心していました。スーツケースを部屋に置き、13時頃に大学内にある Bursar's office に歩いていき、滞在費をクレジットカードで払いました。そしてレシートを提出するため再び UPM Guest House のオフィスに戻り、洗濯の仕方、ごみの処分の仕方などを確認しました。そこで「Unit C には誰かほかに住んでいるの？ Room 3 とかに」と尋ねると、「Room3 の扉開いているの？あの部屋は常に締めてあるはず」とのことで、別のスタッフの方に部屋に確認に来ていただきました。このスタッフの方は親切な方で、そこでスタッフの方が私物やごみが散らかっている様子を見て“All cleaned!”といいました。すべて掃除したはずだそうです。でもなぜかこの部屋だけ掃除されていないことを知り、オフィスに電話して事情を説明した後、私の鍵を Unit E の Room1 に交換してくれました。その部屋は非常にきれいでした。やはりなにかの手違いで Unit C だけ掃除されていなかったようです。現在も私は Unit E の Room 1 に住んでおり、汚かった Unit C は掃除され、9月2日から別の留学生が住んでいます。



UPM Guest House 左が男子寮 右がオフィスのある女子寮

5. 5 健康診断の予約

Unit E に着いてしばらくすると、となりの Room 2 に前日から住んでいるという日本人のルームメイトが外出から戻ってきました。彼に「健康診断は混雑するから今すぐ予約しに行ったほうがいいよ」といわれ、すぐに Grab で隣のキャンパスにある Health Centre まで行きました。歩くと 20 分くらいかかる距離です。18 時半ごろに到着すると診察の受付は終わっていましたが、予約はまだできるらしく、名前とかを書いて予約しました。すると次の週の火曜日（9 月 3 日）の朝 8 時に来るように言われました。前日に予約したというルームメイトは同じ週の金曜日（8 月 30 日）に予約できたそうです。また遅く来た留学生は授業開始後に健康診断を行う場合もあったそうで、授業に出席できなかったという方もいたとのことでした。健康診断の予約は UPM 到着後なるべく早く行いましょう。

6. スタンプラリー

～stay legally～

6. 1 スタンプカードの概要

スタンプカードは黄色いプリントで i-Putra からもらいます。1 から 8 までの番号があり、それぞれが Mobility Student の手続きのひとつです。簡単にそれぞれの内容を紹介します。

1. i-Putra に行く。スタンプカードをもらうとき最初に押されるスタンプ。
2. 健康診断。
3. Mobility Fee, UPM Student Pass Processing Fee など Study Fees の支払い。Tuition Fee は協定校なので免除されている。
4. 学生ビザ申請のためのパスポート提出。
5. Academic Advisor との面談。
6. Kuala Lumpur, Putrajaya ツアーへの参加。参加しなくてもよい。私は参加した。
7. Malacca ツアーへの参加。参加しなくてもよい。私は参加していない。
8. パスポート、ビザの回収

まず 1 番は最初もらうときに押されます。2 番の健康診断に行く前に 3 番のお金を払うことはできますが、健康診断が終わった後でないとスタンプをもらうことはでき

ません。1, 2, 3 番がすべて終わると 4 番でパスポートを提出できます。5 番はいつでもいいと思います。6, 7 番は Optional のようであるため、両方参加した人も片方だけ参加した人も両方とも参加できなかった人もいます。それぞれのツアーに定員があるため、最初に i-Putra に行ったときに説明を受け KL, Putrajaya ツアーに申し込みました。このツアーの料金は RM15 (約 400 円) でした。また、6, 7 番のスタンプは International Student の Welcoming Programme に参加すると押されます。8 番はパスポート提出した後に学生ビザの準備ができたという趣旨のメールが i-Putra から届いたあとに手続き可能です。

6. 2 5 時間かかった健康診断

スタンプカードをもらうときに、ステープラーで一緒にとめられた健康診断のための書類をもらいます。名前やパスポートナンバーなどの個人情報のほかに、これまで特定の病気にかかったことはあるか、ワクチンを摂取したか (前述) などを記載します。またパスポートサイズの顔写真も必要です。日本から持ってくるのが楽ですが、私は sim カードを買うところで写真も扱っていたのでそこでお願いして作ってもらいました。

予約しておいた 9 月 3 日の朝 8 時前に UPM Health Centre へと向かうと、すでに多くの留学生と思われる方が待機していました。入り口近くにある白いプリントをとり、名前など必要事項を書いて、パスポート、スタンプカードとそれと一緒にもらっ

た書類を受付で提示しました。そして Payment のカウンターで健康診断のための RM250 (約 6750 円) 払った後、Registration のカウンターへ。ちなみにここで “Do you have religion?” と聞かれます。

そこからは血圧、色覚検査、視力、身長、体重などの検査がありました。それらが終わるとお医者さんと面談。“Do you smoke?” という質問に “No.” と答えた後、鼻、耳、口、腹部を診てもらいます。次に別の部屋に移動するように言われ、そこで黄色い蓋のついたプラスチック容器を渡され、“Take your urine.” といわれました。トイレの個室に隣の部屋に通じる小窓のようなものがついており、そこに容器を置いて扉を閉めると回収してくれました。そして血液検査があり、この2つの結果が出るのに1時間ほど待たされました。採取してすぐに検査されるようです。

結果の書かれたプリントをもらった後 X-ray を撮り、先ほど面談したお医者さんのところに行って2番のスタンプをもらおうと終わりです。すべて終わったのは13時でした。

英語での健康診断って難しいかなと最初は思っていたのですが、結局は何事もなく普通に終わりました。

6. 3 お金払いたいの銀行がシステムダウン

健康診断が終わったあと大学内の銀行で Study Fees を払いに行ったら、銀行がシステムダウンしていました。結局翌々日(9月5日)もシステムダウンしていました

が、手動でお金が払えるように対応していただき、留学生たちで混雑する中なんとか Study Fees を払い終え、隣にある Bursar's office で領収書を提示し、3 番のスタンプを押してもらいました。このときバス 1 か月定期券も念のため購入したのですが、結局一度もバスに乗っていません。さらに、UPM には学生がたくさんいるため、運転手が定期券を確認することはないとのこと。そのためこのバス代は寄付のようなもので、払う必要はないそうです。

6. 4 パスポートの提出

2、3 番のスタンプを手に入れると i-Putra でパスポートを提出しました。このとき 4 番目のスタンプを押してもらい、パスポートの引換券である緑色のプリントをもらいます。9 月 5 日に提出して、「準備できたからパスポート取りに来て」というメールが来たのが 10 月 3 日。学生ビザの申請に 1 カ月ほどかかるようです。また、このパスポートが準備できた段階ではじめて EMGS のパーセンテージが 100% になります。

6. 5 Academic Advisor との相談

Academic Advisor となる教授の名前は Offer Letter に書いてあります。名前を UPM のホームページで調べれば連絡先がわかります。私はパスポートを提出した後に Faculty of Forestry に行ってみたら担当の教授は偶然あまり忙しくない時間帯だった

ようで、そのままの授業をとるかの相談、決定、登録をしました。登録の方法は千葉大学とあまり変わりません。Portal と別に Moodle があります。ここで 5 番のスタンプというサインをもらいます。

6. 6 Welcoming Programme

9月6日から4日間にわたって留学生のオリエンテーションが始まります。初日は Welcoming Programme がありました。新しく来た留学生が参加するもので、大きなホールにたくさんの留学生が集まります。内容は UPM の説明、大学内での規則、簡単なレクリエーションなど。参加後に 6, 7 番のスタンプがもらえます。初日のオリエンテーションに参加すればスタンプがもらえるようで、あとは参加自由みたいです。ここでタイからの留学生数名と仲良くなりました。次の2日間もタイの留学生たちと一緒に回りました。

9月7日にはサークル紹介のようなイベントがありました。さまざまなサークルを見ましたが、特にサークル活動などには参加していません。

9月8日は KL、Putrajaya ツアーがあり、200人ほどの留学生が参加していました。訪れたのは Putra Mosque, Central Market など。楽しかったです。

以上が授業開始前の手続きです。

ここまで留学準備と留学直後の手続きについて書きました。これから留学に行く方、特にマレーシア、UPM に留学を予定している方の参考になれば幸いです。前置きはこれくらいにして、次から本来書くべき内容である勉学の状況と生活の状況について真面目に書きます。

7. 勉学の状況

～ここから本編～



Faculty of Forestry

7. 1 時間割

	Monday	Tuesday	Wednesday	Thursday	Friday
8:00		Bahasa	Nature		
9:00		Melayu	Education		
10:00	Environmental	Introduction to	(8:00~10:00, 11:00~14:00)		
11:00	Interpretation	Outdoor			
12:00	(10:00~12:00,	Recreation			
13:00	14:00~17:00)	(10:00~12:00,			
14:00		14:00~17:00)		Forest	
15:00				Science	
16:00					

これが私の1週間です。金曜日は授業をとっていません。このほかにも短期の Malay Language and Culture Exploration Programme という授業をとっています。授業はまだあまり多く受けていませんがそれぞれ簡単に説明します。

7. 2 Environmental Interpretation

報告期間内では1度しか受けていません。9月の月曜日はマレーシアの祝日が多かったためです。内容は主にプレゼンテーションについて。環境の中にあるものをどのように人に伝えることができるか、コミュニケーションのスキルが求められます。初回授業は Rule of Thirds (三分割法)を用いた植物や動物の写真の撮り方についてでした。留学に行く前に新しいカメラを買っておいてよかったです。学科2年生向け。3単位。

7. 3 Malay Language Communication (Bahasa Melayu)

基礎的なマレーシア語です。この授業は30人ほどが受けているのですが、日本人が私だけ、インド、パキスタン、イラクが一人ずつ、残りは Full-Time の中国人です。この授業だけでなくほとんどすべての授業において、授業を受けている学生から代表生徒 (Representative) を一人決めるのですが、私が担当しています。これは先生から生徒の連絡 (主に課題など)、生徒から先生の連絡 (主に欠席など) を媒体する役割が主です。自分にできるか不安でしたが、中国人の親切な学生が助けてくれたため何とかかなり

ました。2単位。

この授業では一度参加自由の実習がありました。KLにある学校で開かれる Malay Culture Exhibition のようなものに参加して、マレーシアの文化を学ぶという内容でした。そこには UPM で日本語を教えている先生も参加していました。ヒジャブを被った女性が突然日本語で「マレーシアにはどれくらいいるの？」と聞いてきたので驚きました。そこでいくつかの日本の高校が10月にマレーシアを訪れるプログラムがあるということを知りました。このプログラムについては次回の報告書で触れたいと思います。

7. 4 Introduction to Outdoor Recreation

この授業が一番自分の関心のある分野と一致していました。レクリエーションとは何か、その定義やレクリエーションに参加する要因などを学びます。学科1年生向け。3単位。

7. 5 Nature Education

私の Academic Advisor を担当している先生の授業。グループワークがメインです。初回授業ではグループごとに“Nature”の絵を描きました。2回目ではグループごとにある環境問題について発表を行うという課題が課せられました。10月からは実習が多くなるそうです。学部3年生向け。3単位。

7. 6 Forest Science

森林学の基礎。これまでの内容はバイオームや熱帯雨林、亜熱帯雨林などの区分について。高校生物の範囲とかぶっているところがありますが、これも実習が多くなるそうです。学科1年生向け。3単位。

この授業は初回に教授が「木曜の午後に授業あまりやりたくないからほかの時間帯にずらしていい？火曜の朝か夜」といっていましたが、結局どこの時間も受講できない学生が生じてしまうようで、木曜の午後に落ち着きました。どうやら初回授業で時間をずらすということがあるようです。

7. 7 Malay Language and Culture Exploration Programme

留学生が参加できるプログラムで、25人ほどが参加しています。毎回マレーシア語とマレーシアの文化を学びます。9月後半から10月前半の平日、17時から19時まで2時間の授業を受けています。2単位。

8. 滞在先について

～生活の状況～

8. 1 UPM Guest House



Unit E のリビング。広い。普段はヨガマットと筋トレ道具で散らかっている。

ここから生活の状況について書きます。まずは滞在先である UPM Guest House について。家賃ですが、RM3494（約 9 万 4000 円）の家賃をまとめて払いました。この値段で 8 月 28 日から来年の 6 月 21 日まで約 10 か月間滞在できるなんて、さすが物価の安いマレーシア。さらにこの料金には水道代、電気代も含まれています。ルームメイトと共有の部屋というのも安さの理由のひとつです。

この建物は A から E まで 5 つの Unit を持っており、それぞれに 2 人部屋が 2 つずつあるようです。もうひとつ一人部屋（Room C）がありますが、この部屋はカギがかかれています。そのため Unit には最大 4 人で住んでいます。この 4 人での共有部は広いリビング、ダイニング、キッチンです。それぞれの部屋にシャワーとトイレがついており、これはルームメイトと 2 人で共有です。

ルームメイトは日本人で、フラットメイトは日本人とタイ人です。また、男子寮のほかの Unit には日本、韓国、トルコ、タイ、ブルネイ、インドネシアからの留学生が住んでいます。女子寮には日本人とタイ人と韓国人が多いです。僕がタイ語を話せることもあり、タイからの留学生と日本の留学生とで一緒にご飯を食べに行ったり、パーティーを開いたりすることがあります。

UPM Guest House の場所は North Campus の中にあり、僕の所属する Faculty of Forestry まで徒歩 5 分の近さにあります。お昼休みに帰って寝ることもできるので便利です。

結果的に、UPM Guest House が非常に快適で立地もよく家賃も安いので、寮の予約はしなくてよかったと思っています。なんとかなると思っていたら本当になんとかになりました。

9. 大学周辺施設

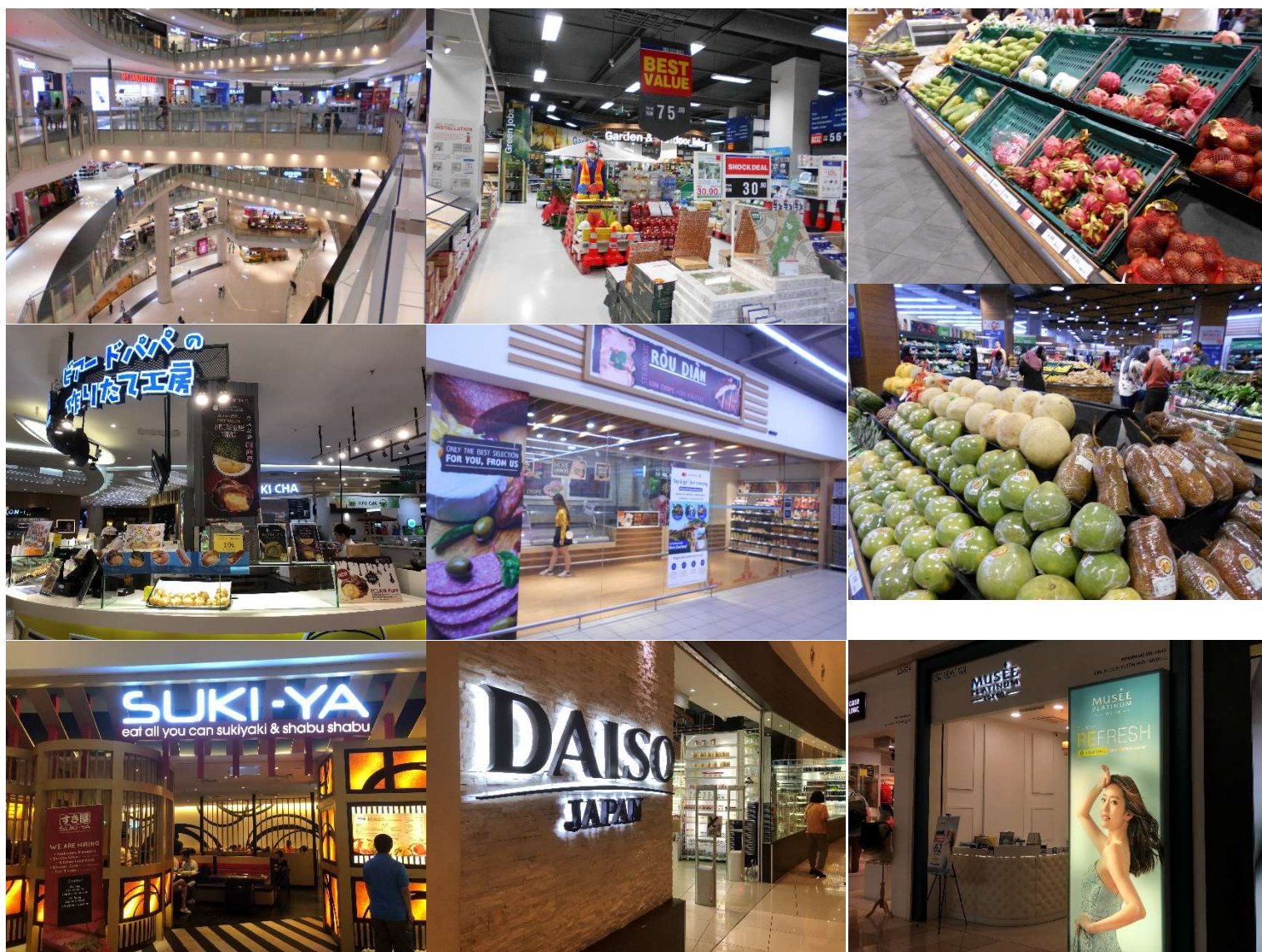
～生活に必要な買い物～

9. 1 日本のお店もある IOI City Mall

大学周辺で最も頻繁に買い物ため訪れるのは IOI City Mall というショッピングモールです。車で 10 分ほどのところにあり、4 階建てで売り場面積もとても広く食品売り

場から日用品、衣類まで何でも販売しています。食品売り場には日本ではなかなか見ないドリアン、ジャックフルーツ、ドラゴンフルーツなどが売っています。

ここにはすき家、吉野家、はなまるうどん、銀だこ、すしざんまい、FamilyMart、UNIQLO、ビアドパパ、DAISO、ミュゼプラチナムなど日本のお店がいくつかあります。その中でも DAISO でよく買い物をする。到着直後に掃除用具をほとんどここで買いそろえました。料金は日本の 100 円より少し高い RM5.90 (約 160 円) です。



IOI City Mall の一角から撮影（左上） ホームセンター（上中央） 食品売り場にはドラゴンフルーツやドリアンなど（右上、右中央） 豚肉、アルコール類の売り場は分けられている（中央） 日本の食べ物も手に入る（左中央、左下） DAISO は人気があり混雑していることが多い（下中央） サービス業のミュゼプラチナムがあることは男性の私も意外だと感じた（右下）

9. 2 The Mines

大学から無料のバスで 20 分ほど。IOI City Mall よりも規模は小さめのモールですが、衣類の多さと映画館があるという点においてはこちらのほうが勝っています。映画館へは一度タイと日本からの留学生 10 人で KL、Putrajaya ツアーの後「天気の子」を見に行きました。映画のチケットは RM17（約 460 円）と日本よりも安いです。

また、この 2 つの施設以外にも普段買い物するためのスーパーが大学の近くにあります。

10. Haze で大学休み

～インドネシアの火事～



休講となった9月19日のキャンパス内。空気が汚く、奥のほうがかすんでいる。

10.1 大学休みでも外に行けない

この章を書く上で最初に言っておきたいのは、マレーシアの空気はいつも汚いわけではなく、9月のある期間中に汚くなっていたことがあったというだけだということです。普段の空気には何も問題ありません。

9月の18日から20日、23日の大学の講義はすべてキャンセルされました。このときは本当に空気が汚く、不快でした。普通は大学休みになったら「やったー！KLに遊びに行こう！」と喜ぶはずですが、もちろんそんなことをする気にもならず、一日中部屋にこもっていました。

10.2 インドネシアの火災について

どうして空気が汚くなっているのかというと、インドネシアで火災があったようです。以下から WWF ジャパンからの引用です（一部編集しました）。これはぜひ関心を持っていただきたいことであるため引用させていただきました。



アメリカ航空宇宙局（NASA）およびアメリカ海洋大気庁（NOAA）が運用する気象衛星が観測した火災発生地点（ホットスポット）

アメリカ航空宇宙局（NASA）およびアメリカ海洋大気庁（NOAA）が運用する気象衛星が観測した火災発生地点（ホットスポット）は、9月10日から17日までの一週間で、8万7960地点に及ぶことが分かりました。

インドネシアでは毎年、雨の少ない乾季の訪れと共に、森林や泥炭地で火災が発生し始めます。この乾季は、通常3月ごろから始まり、半年ほどで終わりますが、毎年

とりわけ火災の発生件数が急増するのが、乾季もきわまった9月～10月にかけての期間です。

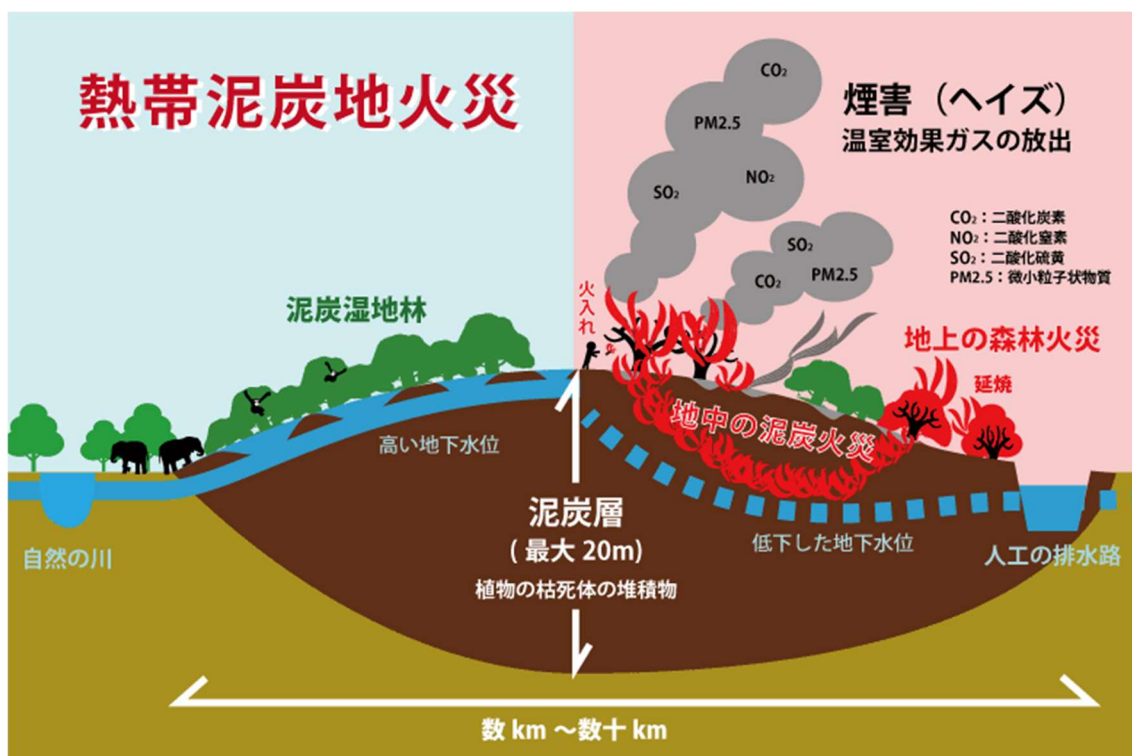
特に深刻なのは、泥炭地と呼ばれる環境で生じている火災です。泥炭とは、枯れた植物が、湿地などの水中で分解されずに蓄積したもので、場所によっては、最大で20メートル以上にもなる厚さの地層を形成します。

インドネシアでは特にスマトラ島の東部などを中心に、この泥炭地層が広がっており、その上に形成された湿地や湿地林が多くみられます。この泥炭地の火災の大きな問題は、地層を形成する泥炭自体が、乾燥すると非常に燃えやすくなることです。そして、一度発火し、土の中にまで火が入ってしまうと、完全に消火することがきわめて困難になります。

さらに、泥炭は膨大な炭素の貯蔵庫。泥炭地は、地球の陸地面積のわずか3%にすぎませんが、世界中の森林を合わせたよりも多くの炭素が貯えられています。この泥炭が燃えると、通常土地が燃えたときの20倍にも上る二酸化炭素(CO₂)が排出されてしまうため、地球温暖化(気候変動)をさらに増進させてしまう大きな原因にもなります。

こうした泥炭や森林の樹木の燃焼は、大気中に二酸化炭素だけでなく、二酸化窒素や二酸化硫黄などの有害物質も排出します。この大量のヘイズ(煙霧)によって、近隣の市街地はもちろん、国境を越えてシンガポールなどの国々にも、深刻な健康被害が

拡大しているほか、学校や公共機関なども一時閉鎖されるなど、大きな社会問題が生じています。



WWF ジャパンより引用

自然環境への被害も甚大です。スマトラ島やボルネオ島のカリマンタン地域を含むインドネシアの国土面積は、地球の地表の1.3%に過ぎませんが、その主要な島々の全てで現在、火災が多発。しかもそこは、世界の熱帯林の約10%が残る場所です。

そこには全世界の哺乳類の12%、爬虫類・両生類の7.3%、鳥類の17%が生息して

いるといわれ、トラやアジアゾウ、スマトラサイ、オランウータンなど、国際的にも絶滅が心配されている多くの野生動物が命をつないでいます。

火災の拡大は今も、こうした貴重な野生生物をはぐくむ、東南アジアの貴重な熱帯林の生態系を、大規模に破壊し続けています。

インドネシアで多発している火災の主な原因は、主に農地の開発を目的とした「火入れ」すなわち人為的な放火です。

これは、熱帯林を切り拓き、農地や植林地を造成する手段として行なわれているものです。違法な行為でありながらも、その手軽さや効率の良ささから、火をつける人が後を絶ちません。

特に、火災の発生に拍車をかけているのが、パーム油（植物油）を収穫するためのアブラヤシ農園や、紙の原料となる紙パルプを生産するためのアカシアやユーカリといった樹種を植えた植林プランテーションの造成です。

特に被害のひどい地域は、スマトラ島中央のリアウ州、ボルネオ島の西カリマンタン州や中央カリマンタン州など。いずれも、パーム油や紙の生産が盛んな地域に重なります。そして、こうして切り拓かれた農地やプランテーションで生産されたパーム油や紙は、日本へも輸出されているのです。

引用は以上です。火災の原因は乾季であることによる自然の影響と、プランテーションを営む企業らが楽に儲かるからという人的要因があるようです。

また、2015年にもこのような火災が発生しており、このときはインドネシアの製紙パルプ用のプランテーションを営む企業らが大規模火災およびそれに伴うヘイズを発生させたことで処罰を受けたそうです。

詳細に関しては以下の記事を読んでみてください。参考文献です。これらの記事を教えてくださいました高垣先生、ありがとうございました。

WWF ジャパン

https://www.wwf.or.jp/activities/activity/4103.html?utm_source=member&utm_medium=email&utm_campaign=20190927member

2015年の火事の記事

<https://sustainablejapan.jp/2016/01/16/indonesia-haze/20774>

11. おわりに

～長くなりました～

留学生課の方が「形式変えてもよい、準備について書いてもよい、上限はないからどんなに長くなってもよい。」とおっしゃっていたので本当に形式変えて長々と書きまし

たが、思ったよりも長くなってしまいました。準備の部分だけでかなり書きましたが、それほど長期留学の準備は大変だということが伝わったかと思います。この準備の部分はほとんど渡航前に書いたものです。

次回はしばらく先になりますが、授業内容、クアラルンプール周辺施設など今回以上にいろいろなことを書ければいいなと思っています。

また、質問等あれば以下のメアドをお願いします。

maskenflip@gmail.com

以上です。最後まで読んでいただきありがとうございました。

海外派遣留学プログラム報告書

(報告期間：2019/10/01 ～2020/02/29)

1. 勉学の状況

授業で行ったことをいくつか紹介します。講義型の授業(Lecture)もたまにありますが、大半が実習(Tutorial)です。講義型よりも内容に興味を持つことができ、理解が深まるので私はこの授業形態を好んでいます。このなかでも特に印象に残っているものを3つほど紹介します。

1. 1 ボルダリング



リードクライミングはクライマーとビレイヤーの信頼関係も重要。

レクリエーションの授業の実習で大学近くのボルダリングができる総合スポーツ施設のようなところに行きました。ボルダリングの壁もありましたが、この授業の実習としては主にリードクライミングを行いました。実習だったので、ホールドがガバばかりのスラブしか登っていませんが、それでもなかなか楽しめました。自分のボルダリングシューズとチョークを持参してきてよかったです。

1. 2 洞窟探検



ヘッドライトを消すと完全な暗闇。

森林学の授業の実習で洞窟に行きました。洞窟に行くのは初めてで、暗い中、洞窟内の急斜面を滑り降りたり、天井が50 cmほどしかないようなところに流れる浅い川を這いつくばって進んでいたりすることなどがありました。難しくも楽しかったです。2泊3日の実習では川や森でのレクリエーションも行いました。

1. 3 演習林での実習

SISFEC という名前の演習林には20回ほど訪れています。演習林に生息する植物のなかからひとり種類ずつ選び、それぞれレポートを書くといった授業がありました。ほかの授業では、学部のスタッフなどの6歳から12歳までの子どもを対象とした、自然について学ぶためのイベントを開催しました。これらの実習でこの演習林に何度か宿泊したことがあります。



SISFEC にある池はきれい。



トイレの壁にいた 30 cmを超えるトカゲ。最初見たときはソフビかと疑った。

また、私は参加していませんが学部のほかの授業では実習でタイやシンガポールなどへ行くこともあるそうです。

これらのような実習を行った後、レポート課題を提出したり、その実習に関する内容の講義を受けたりしました。1月中旬にテストを受け、最初の semester が終わりました。

2. 生活の状況

生活の状況については、3つの観点から書きます。

2. 1 食事

ほぼ毎日マレーシア料理を食べていますが全く飽きません。その一部を紹介します。



Roti Canai

一番頻度が高い朝食は Roti Canai です。3種のカレーにつけて食べる薄いパンです。RM1.20 (約 35 円) という安さで、作り立てアツアツを食べることができるので、ほぼ毎日食べています。卵、玉ねぎ、練乳、マーガリン、MILO、カヤなどの中身を追加することもできます。



Thosai

Roti と似ていますが、米でできているので味は違います。また、大きさも Thosai のほうが大きいです。Roti と同様に中身を選べます。Thosai paper という注文をすると非常に大きくなります。



Thosai paper. 大きく薄いパンが丸められている。



Mee Goreng

炒めた麺です。焼きそばに似ていますが、味付けは少し辛めです。



Nasi Goreng

炒めご飯。様々な具材のバリエーションがあります。上の写真はもっともシンプルな Nasi Goreng。僕が好きなのは卵と野菜の具材があるものです。



僕の気に入っているマレーシア料理は以上です。帰国する前にはある程度調理方法を覚えたいと思っています。

2. 2 KL の施設

クアラ・ Lumpur、略称を KL といい、マレーシアの首都です。いくつかの施設を紹介します。

・ Petronas Twin Tower



クリスマスの日撮影。

クアラ・ Lumpurといえばこれ、というイメージのある方もいると思います。高さ 452m のこの建物は完成した 1998 年から、台北 101 が建てられた 2003 年にまでは世界一高い建物でした。僕と同世代の方が生まれた時の世界で一番高い建物はここのはずです。

その高さもすごいですが、私がそれよりもすごいと思っているのはその下にあるショッピング等の複合施設、Suria KLCC です。ここにはまずスーパーマーケットがあり、名前を ISETAN と言います。日系のスーパーマーケットであるそこには日本の食材が何でもそろいます。ここの魚コーナーでは、「いらっしやませー！お寿司、お刺身いかがですかー！」という声と「♪さかなさかなさかな～ さかなを食べると～」という音楽と共に、一部日本から直接輸入したお寿司販売しています。KL に住んでいる日本人も多いのでしょうか。



ISETAN には千葉県産の焼き芋もある。ここでチーバくんに会えたことに感動した。

さらにこの建物には、とても大きな本屋さんがあり、名前がなんと Kinokuniya Bookstore です。そう、紀伊國屋書店が KL にもあるのです。売り場面積がとても広く、主に英語と中国語の本が置いてありますが、日本の本も十分すぎるほど置いてあります。英語やマレー語を学ぶための本はもちろん、小説や旅行本、漫画、ゲームの攻略本まで、欲しい本はすべてここで買うことができます。前回の報告書に「マレーシアでは日本語で書かれた本は手に入りづらい」という内容を書きましたが、そんなことなかったようです。



紀伊國屋書店にある日本の書籍が並べられたスペース。

また、ツインタワーの目の前には Taman KLCC という公園があります。朝はランニングに来ている人が多く、夜になるとライトアップがきれいです。

- ・ Pavilion

日本のレストランが多い場所です。一度どうしてもオムハヤシが食べたくって、この建物にあるココ壱番屋に行きました。

- ・ Aquaria KLCC

水族館です。私は水族館が好きなのですが、ここの水族館はかなり気に入っています。一番の目玉は 90m の水中トンネルです。熱帯魚の展示も魅力的です。

大まかな説明ですが以上です。まとめとして、KL は日本人の住みやすい都市ということですが、私が日本人であるためどうしても日本のものばかりに着目してしまっていますが、おそらくこの国の人でも KL は住みやすいと思います。

2. 3 日本から持ってきてよかったもの

「長期留学に行くときに日本から持っていくべきものはなんですか？」ということ聞かれることがあります。これに対する私の考えを書きます。

- ・ KL で日本の本や食品は買える

前回の報告書に「日本語で書かれた本」と書きましたが、前述のとおり Kinokuniya Bookstore でそれらのものも購入で来るため、必要最低限の本以外はいらなかったかなと思います。国によっては日本のものも簡単に手に入るようです。しかし、これらの商品は日本よりも高く売られている場合がほとんどです。主に日本で売られている本をマレーシアで買うと日本円での価格の約 1.3 倍で販売していました。留学に行く場合は日本のものが手に入りやすいかどうかを調べておくのがいいかもしれません。日本の食料品も前述の ISETAN や、KL とその周辺に点在する Syojikiya というお店などで買うことができます。

- ・ スポーツ用品等自分の趣味などのための道具

一番多くの人に当てはまるのではないかと思われるのがこれです。前述したように、私はボルダリングをするため、シューズやチョークを持ってきました。個人のお気に入りのスポーツ用品がある場合は持参することをお勧めします。

- ・ 日本からのお土産

現地の友人や、ルームメイトなどにお土産として渡す目的のものです。私は渡航前にライフセンターで購入した千葉大学オリジナルグッズをあげました。

・無音目覚まし時計

これは住む部屋がひとり部屋でないときに非常に役に立ちます。自分は朝早く起きなければならぬが、隣で寝ているルームメイトを起こしたくないということがよくあるからです。日本から持ってきてよかったと一番思うものです。このようなシチュエーションを想定していたわけではありませんが、たまたま持っていきました。手首にまいて振動で目覚めるタイプのものを使っています。

これまでで思いついたものは以上です。渡航先の国やその人の趣味、研究内容、予定している活動によって持っていくものは様々であり、「長期留学に絶対持っていくべき万能最強アイテム」なんてものは存在しないというのが私のたどり着いた結論です。

おわりに

前回の報告書で57ページの長々とした報告書を書きました。どうやら今までで最も長い報告書だったようです。今回はギャグとかなしで、真面目に短く書きました。前回の報告書読んでメールなどで連絡していただいた方、ありがとうございます。今回もお読みいただきありがとうございました。

海外派遣留学プログラム報告書

(報告期間：2019/03/01 ～2020/08/07)

1. はじめに

帰国後、私はこの報告書を書き始めることがなかなかできませんでした。理由は、オーディエンスを意識することができていないし、書きたい内容が期待されているものかどうか分からないからです。準備に関して書いた長い留学報告書を読んだ人なら理解できると思いますが、私はこの報告書を、これから留学する人たちの参考になればよいなと思って書いていました。しかし、留学を予定していた人のほとんどはそれがキャンセルになってしまったと思います。留学先の授業をとる前にとんぼ返りになってしまった人もいます。私は、留学をすることができた身として、その留学をどのようなものだったと説明すればよいかわかりませんでした。留学は楽しかった、素晴らしかったと書けば、留学ができなかった人々への煽りのようにとらえられてしまうかもしれません。逆に、パンデミックのせいで留学が上手くいかなかったなどマイナスなことを書けば、こちらも留学できなかった人に対して失礼な内容となってしまいます。だからといって、私が主観的に思ったことを完全に排除し、ただ単に出来事だけを書くのもまたおかしなものだと思います。そのため、ここで私は留学に関して自分の思ったことを、プラスもマイナスも含めて正直に書きます。不快に思われる方もいるかもしれませんが、ご了承ください。

2. 勉学・生活の状況

3月18日からマレーシア政府はMCO (Movement Control Order) を発令しました。いわゆる Lockdown です。外に行くことが禁止されました。この期間中は毎日ご飯を食べていた近くの Mamak がオンラインでの宅配のみの注文となったため、毎日の楽しみを奪われてしまったことがつらかったです。外に出歩くことができず、買い物や食事の注文はスマホのアプリから行う

日々でした。外を見ても外出しているのは食べ物などを配達する人々のみでした。この状況でゲストハウスに住む留学生の半分ほどは帰国しました。残りの半分は授業が終わる 8 月まで滞在し続けたそうです。私は、今となっては正しい判断ではなかったということを理解していますが、3 月 28 日に日本に帰国しました。

授業は新型コロナウイルスが流行し始めた 3 月中旬から一時的に休みとなりました。4 月中旬からオンライン授業が開始されましたが受講できたのは 1 つだけでした。Forestry の授業は実習がメインだったし、その授業も実習が受けたくて受講していたため、オンラインの授業はあまり楽しいものとは言えませんでした。6 月 21 日までだった Semester は 8 月 7 日まで延期されました。オンライン授業は 7 月の中旬まで受講していました。グループワークがメインで、発表の準備や千葉大学の授業と重なるなどで忙しいときもありましたが、なんとか最後まで受講することができました。

3. その他、帰国後のこと

実は、もともと 3 月ごろに一度日本に帰国してもよいかもしれないと思っており、3 月 18 日から当初 2 週間の予定で MCO が発表されたため、ちょうどいいから一時帰国しよう、という考えで帰国しました。しかし、MCO は 2 週間どころかさらに長期にわたり延期され、制限は緩和されたものの今現在も続いているようです。

マレーシアに戻れなくなってしまった、ということも帰国を後悔していることの一つですが、ほかにも帰国を後悔する要因がありました。ある日本の有名な YouTuber の方で、マレーシアに滞在されていた方がいます。2 月に一度その方のイベントがあり、お会いしに行ったことがあるのですが、私が帰国した後、その方も帰国するという判断を下されました。それについてネット上で誹謗中傷が起こったのを見ました。「コロナを日本に持ち込むな」というような内容です。感染のリスクを伴う行動は避け、自分のいる国に留まるべきだと。どんなに気を付けていても、

一緒に飛行機に乗る方、空港職員の方との接触を避けられないため、私にとってもあの時期に帰国するのは正しい判断ではなかったように思います。もちろん空港からは家族の車で自宅まで帰宅しましたし、帰国後2週間は自宅待機をしました。帰国後、帰国したことをSNSに載せたりすることはせず、ずっと更新することを避けています。留学中のことを書いたブログもあったのですが、帰国したことをよく思わない人々へのリスクヘッジとして削除しました。私は、パンデミックという未曾有の事態にベストな判断を下すことができなかったことをずっと悔やみ続けていました。「あのとき、情報収集をもっとして帰国しないという適切な判断をしていれば今もまだマレーシアに居続けることができたのかもしれない」と、帰国後半年間は毎日考えていました。

一時帰国のつもりで帰国したため、もう一度マレーシアに入国できないかとチャンスをうかがっていました。観光客の入国は禁止されていましたが、MCO期間中に学生ビザが期限切れになった場合は学生として入国できたようです。千葉大学の後期の授業もオンラインであったため、UPMとマレーシア大使館に連絡して再入国の手続きを行おうかと本気で考えていましたが、10月4日、マレーシアは国内感染者の増加を受け12月31日まで留学生の入国を禁止にする処置をとりました。さらに、留学生仲間の一人に、UPMにFull Timeで通っていた日本人の友人がいて、彼にマレーシアに置いてきた荷物を預かってもらっていたのですが、UPMの授業がオンラインになったことを受け、彼も10月16日に帰国するという連絡をもらいました。そのため私は再渡航を諦め、私の荷物を彼が帰国する前に郵送してもらうことにしました。インターナショナルの郵送サービスも、以前日本から荷物を送る際に利用したEMSというサービスが停止しており、Asiexpressという郵送サービスを利用して送っていただきました。私の留学をサポートしていただいた方の中で一番感謝したいのはこの友人です。彼は帰国後、成田空港近くのホテルで2週間待機して、10月30日に私と会いました。そのときすでに郵送した荷物は自宅に送られていましたが、彼に預けていた一部のものを回収しました。私は、すべての荷物が手元に

帰ってきたことと、留学先の友人と出会えたことによって、はじめて私の留学が終わったことを実感しました。

留学して得られる体験というのは、留学先で出会う人々が与えてくれるものがほとんどだと思います。私は途中で留学をやめてしまったものの、思い返せば留学によって素晴らしい経験をすることができました。それは、主に現地の学生や留学生仲間によって与えられたものです。もし今再渡航したとしても、共に過ごした留学生がいないマレーシアでは、得るものは少ないと思います。留学生の仲間の一人に日本で出会って初めて私はそのことに気がつきました。

これから留学を考えている人で、留学することが難しくなってしまった方も多いかもかもしれません。海外の大学の授業をオンラインで受講するプログラムに参加することで留学を済ませる人もいます。そういった経験をする人は、現地に行けないことを悔やむのではなく、海外の人との新たな出会いに感謝してください。自分と異なる文化や考え方を持つ人とのかわりりは自分を大きく成長させます。

4. おわりに

留学中に、帰国後の目標をひとつ立てました。帰国後誰かに「留学は楽しかった？」と聞かれたとき、私の中の模範解答を答えることです。それは単に「留学は楽しかったよ」と答えることではありません。

「留学は楽しかったし、今も同じように楽しい」と答えることです。帰国直後、私はこの目標を達成できる状態ではありませんでした。尻切れトンボの留学が楽しかったものとは認識していなかったし、日本で過ごす日々は留学していた時よりもずっと退屈なものでした。しかし、今振り返ってみれば、留学を通して世界中の人に会い、多くのことを学び、様々な体験をすることができたため、私の留学は最高に楽しかったと心から答えることができます。そして今も私は、大学の課題をこなしながら毎日楽しく過ごしています。

最後に、留学を支えてくれた皆さまのおかげで、マレーシアにて素晴らしい経験を得られたことに心からの感謝を示して、私の留学報告とさせていただきます。